

○ Profile (座員紹介) …順不同



東俊太郎／東田俊一
(516・1・1 生)

○劇団との出会い：伊藤忠で輸出入貿易業務担当時、業者である DHL (海外メール)の担当者と青山で飲食後担当者の事務所がゼームズ坂におり馴染みのところへ連れて行かれたのが居酒屋“せつちゃん”でした。そこで分部さんと出会い後の紹介で太田会長と知り合い“縁は異なもの味なもの”現在に至る。○記憶・印象に残る舞台：分部さんから劇団への誘いがあり最初は東品川シルバーセンターへ観客として行きました。その時は分部さんは、五木ひろしの歌を熱唱していました。翌年この舞台で歌うことになり山浦前座長の面談を受けた記憶があります。橋幸夫の“潮来笠”歌いましたが手の平に歌詞を時々見て歌い山浦さんから目と手が悪いのか？と言われた事！歌舞伎風“白波五人男”の口上は出演するたびに自分成りにアレンジしていますが、これからも前向きに平常心と集中心の間の演技で頑張ればと思います。○劇団と人生の関わり：私は、60歳(還暦)以後のライフワークは男女“人それぞれ”ですが？家族・会社・学校(先輩後輩)親友・悪友等当たり前な事ですが人との出会で“絆”が付いて来る事もあるのではないのでしょうか？



宗房子／藤ヶ谷幸子
(528・12・8 生)

「私にとっての飯山劇団」それは第三の人生の始まりでした。幸せな結婚生活、離婚精神的経済的などん底、そこへ楽しい仲間との飲み会三昧！劇団活動より、みんなと会ってお酒を飲んで笑って、家に帰ると子供や母に白い目で見られていましたが、何年かぶりの開放感はしばしば痛みつきになりました。台詞を覚えるのは毎日の通勤電車の中。座れば眠くなり、立っていけば台本は開けない、いつも中途半端な出来上がり。それでも本番はアドリブとジェスチャーでなんとか。が、最近では劇団のレベルがグーンと上がり、全くついていけなくなり、20周年記念公演を機に…と気負ってはみたものの、やはり進歩のない私。極上の笑顔で誤魔化してしまいそうです。が、これからも劇団員として人生楽しく過ごすには、皆さんに精一杯追い付く様に頑張りますので、よろしくお願ひします。そして公演後に美味しいお酒を呑みましょう！



ケンタッキー山口／山口謙治
(526・6・8 生)

『人生は絆なもの』人生には、どんな出会いが待ち受けているかわからない。その出会いから縁を結び、人生の面白おかしな時間が流れ始めるとあっては、『絆なもの』としか言いようがない。その出会いが蒲田近くの池上線蓮沼駅の裏手の居酒屋から始まった。そのママさんは飯山劇団の会員であり、突如現れたそば打ち職人も劇団員であり、そのそば打ち職人が仰々しく紹介してくれた人物が、これまた劇団の演出家であり当劇団の事実上の主宰者だった。巧みな言葉で誘われて転がされ、気付くと、恥もわきまえずに人様の前に立ち、かつらをかぶり化粧して、役者衣装に身をまとい、演目を演じる素人役者になっていた。歌舞伎の隈取を施し大見栄をきって白波五人男の日本駄衛門を演じるころには、演劇の面白さにはまっていた次第だった。それは、面白おかしな人生の始まりでもあった。



岡裕次郎／岡崎正裕
(516・4・8 生)

関係者の皆様、飯山劇団創立20周年誠にありがとうございます。私が飯山劇団の事を知ったのは劇団創立間もない頃、前座長の山浦英輝君から聞いたのが最初でした。老人ホームや刑務所に慰問の為に向いているとの事、しかもすべて手弁当でやっているとの事を聞きました。応援の為にと入会を勧められ、入会することで 多少なりとも劇団の役に立つならばと同級生数名で入会して10数年になります。私は人の前で劇などやるのは不得手なのでしばらくの間出演していなかったが 数年前「愛染かつら」の患者役で初めて出演し、大きな注射を打たれて「痛いな〜このヤブ医者め」という一言のセリフだったと記憶しております。それ以来セリフの少ない役や歌などに出演させて貰っています。今後ボケ防止の為にも出来る限り劇団との関わりを持っていこうと思っています。飯山劇団が今後ともますます発展されます事を願っております。



伊勢とも子／大崎智子
(522.11.26 生)

三重県で生まれ、育ちました。大好きな故郷伊勢を芸名にしました。以前からボランティア活動に興味があり、H25年柏公演、練馬公演を見学させて頂きました。劇団員の方達の、楽しく素晴らしい演技、施設の方々への温もりある接し方、又公演終了後は反省をふまえながら和気藹々とした打ち上げ会もあり、入団したいと考えるようになりました。8月新百合ヶ丘公演にて歌のバックダンサーを井上、瀬戸、谷口さん達と踊りました。以来友人達は、何かにつけ協力して下さり感謝しています。初演は、H25カーサプラチナ三ツ境公演で、ナレーション役でした。太田脚本家から初めて演技指導をうけました。以来四年目になります。印象に残っている役は、愛染かつら看護婦長役、月形半平太役です。ダンスでは、伊豆早佐美公演で“ふるさと”の曲でワルツを踊っている時施設の方全員がロブさんで下さった事です。まだまだ未熟な芸の私です。これからも、施設の方達とのふれ合いを大切に、もっと良い演技が出来るよう、歌もダンスも感動して頂けるよう努力したいと思います。○座右の銘：一生懸命 ○趣味：社交ダンス 夢は故郷三重の母(現在91才)がいる施設で母が元気に慰問したいと思っています。



芦隆之助／芦原隆
(527.3.23 生)

入団動機は、ほんの軽いのでした。しかし太田理事長の類稀な人柄に惹かれます。芸名も付けてもらい、大変気に入ってました。ところが直ぐに挫折しました。一〜二行の台詞が、覚えられない。そして人前で話すことには、自信があったのですが、身振り手振り台詞が合わず大変上がってしまったことです。先輩の方達は、堂々と役になりきり途方も無く長い台詞を、演じられている。やー凄いな〜素直に感心しました。また高齢者の施設での演劇活動に冷や汗を流した後の、お年寄りの笑顔と一杯目の乾杯が、しゃあない次もやってみよかへ繋がっています。今回運良く20周年の舞台にも少しでも関わりができ、本当にありがとうございます。



佐々昭弘／佐々木弘昭
(516.8.18 生)

劇団との関わり何時からかは定かな記憶に無い。前山浦初代座長が高校同期と言う事で何時しか応援し始めていた。脳内出血から17年後遺症で飛び跳ねができない。知能・言語障害も?リタイヤ後地域ボランティア(自治会)12年、下町だけに行事も多く結構何かと忙しく。そのため劇団員とは言え、演劇の実績は無く、もっぱらビデオ撮影を担当。カメラ目線の劇団印象は、セリフを丸暗記しても舞台上に立てばセリフが出てこない、しかし今はアドリブですり抜ける芸の上達と幅の広がり目は目を見張るものあり、國行さん(橋幸夫の冥婦)の着付けで衣装がシマリ、更に素人芸では済まなくなって来ているのが印象(脚本にも貪欲さがでるのでは!高齢者が高齢者を見舞う素晴らしい飯山劇団、後期高齢者になったと言え、これからは元気で都合つく限り応援して参りたい。平成28年11月2-4日飯山劇団一行17人唐津くんち観光ツアー、眉山、浜入り、アラ料理、バルーン世界フィステイバル、思い出に残れば幸いです。



小俣晴団次／小俣芳晴
(523.1.12 生)

「もう20年になりますか」——昨年、太田理事長から伺った時のことだ。歳を取るものだ、と自分に言い聞かせながら、過去を思い出して見た。素人劇団だが、よくここまで続いたものだ、と痛感した。それもこれも、太田理事長はじめ前座長山浦さん及び劇団員の結束の賜物だと思う。最初の発足は、飯山会と電算ソフトウェア協同組合の有志が、余興で始めたのがきっかけ。株式会社ハツコーの関さんなどと、確か「麦わら帽子」の歌や山浦さんの「裸踊り」の物まねなど多少バカバカしいノリで始めた記憶がある。その後、劇団として発足。江戸・東京博物館で太々的な公演が、きっかけだった。そう言う私は、元新聞記者だったので、瓦版役で出演。「てーへんだー、てーへんだー」と観客席を回り「水戸黄門様がこのお江戸に来るよ」とか言って劇が、始まった記憶がある。そんなこんなで、今では年10数回の公演をこなしてるのだから、たいしたものだ。現座長分部さん、副座長の大窪さんらの努力の賜物と、感謝している。劇団員もそれなりに増え、熟練してきた芸をさらに研鑽して頑張ってもらいたいものだ。そういう私も昨年のブランクを解消するつもりで、一から新人として精進するつもりだ。3月の公演が楽しみだ。



仕出し屋銀次／太田銀一郎 (516・3・16 生)

高校二年のとき、級友のM君に頼まれて同じクラスのKさんへラブレターの代筆を頼まれた。便箋四枚の内容は名文だと思っている。しかし、求愛は受け入れられなかったようだ。昼間部の女子高校生の机は、夜間部の僕達とは共用だ。昼間、僕のこの机にはどのような女の子が座っているのだろうと空想すると、勉強など頭に入らない。意を決して、手紙をしたためて机にそっと入れた。翌日女子高生はそれを先生に渡し、大問題になってしまった。僕を含めて問題児五人が落第の危機に瀕したとき、僕の家に集まり数日間徹夜で勉強した。その時、当時の女優「若尾文子」にファンレターを書いた。若尾文子からの返事は来なかった。翌年の学園祭で「白波五人男」の台本を書き、仲間と演じ喝采を浴びた僕が今でも台本らしきものを書いておけるのは、それらが原点だと思う。



アンナ百世／山田昌子 (522・12・15 生)

飯山劇団を知ったのは、5年程前の事です。その頃社会人大学で福祉を学んでおりました。クラスメイトが座長の友人でしたので、公演に誘われて見に行きました。お腹がよじれる程可笑しくて笑い放しました。その時、飯山劇団に惚れ、子役でもいいから入団をしたいと懇願したのです。「押し掛け劇団員」です。最初の役はオカマコンパニオンの女社長でした。台詞の言い回しが出来なくて注意され通してした。今後も精進を重ねて参りますので、よろしくお願い申し上げます。



ジョージ岡本／岡本豊 (521・5・4 生)

私は、三八会(三橋美智也、春日八郎しのぶ会)で太田理事長に会い入団しました。生まれは、大分県の田舎です。私が五歳の時父が田舎芝居で、瞼の母で番場の忠太郎の母親役を演じました。忠太郎マーのシーンは、今でもはっきり覚えています。上京して骨董品屋で手にした、相田みつお先生の「雨の日には雨の中を」の書との出逢いが私の生きる道を変えてくれました。「その時の出逢いが人生を根底から変えることがある、よき出逢いを活弁士(麻生八咫)、落語家(柳亭市馬師匠)同郷の二人との出逢い、市馬師匠の歌謡浪曲俵屋玄蕃を拝聴し、私も勉強しようと決心しました。瞼の母、俵屋玄蕃、紀伊国屋文左衛門、3曲覚えました。印象に残る舞台は、初めて自分で納得できた、母里太兵衛と福島政則の掛け合いです。これからも人の出逢いを大事に、与えられた役を100%演じられるよう日々勉強し、劇団のさらなる発展に努力してまいります。



エミリー朝倉／朝倉エミ子 (522・1・26 生)

三八会(三橋美智也、春日八郎の歌だけ歌うカラオケ)に大分県人会橋本さんのお誘いで出席した折、太田会長と出会い劇団への誘いがあり入会した。丁度足年を迎えた時でもあり、「60歳足年まで働けたのも皆さんのお陰、何か恩返しを」と思ってた折、良い話でした。会長より最初は「通行人だよ」と言われてた。恥ずかしがり屋の私にとっては其れが良かったのです。周りの団員に刺激され一生懸命頑張る事が出来、今では配役を頂くのが楽しみになって来ました。団員も高齢化して来ましたここでぜったいボケない暮らしのこつ10カ条紹介します。①あれこれそあれこれと考えること。当たり前のことを「え?」「あれ?」「なんで?」と②4WD Why? When? Where? What? 車も四つの輪に動力がかかる方がいい。③1日5回「あーっ!」と言え「あーっ!」とは感動さ。④歌え 短歌や俳句。一人しじみ演歌。童心に帰るや童謡⑤。笑え 笑って! 笑うのは人間だけよ。⑥。読め 新聞・本・広告でもいい。かたづけしから、忘れてもいいから読んで 読んで!⑦。書け 日記、手紙、メモ、書いて!⑧。ソロバンをおけ勘定ではなく勘案 前もって予定を立てて暮せ、そうしたらソロバンがおうたゾとなる。⑨。働け 死ぬまで働け。こけて骨折るな。骨折り損どころかホントにボケる⑩。忍と耐 いっぱい趣味を持って好きなことをやり通せ。そりゃ、寝てるが楽さ、けどラクダ、ラクダと言ってるうちに「あんた・ダーレ」となる。人間で生きざまが老いざまを作り、老いざまが死にざまを作り、死にざまが死のあとざまを見事につくっていく。これからも劇団員としてあちこちの公演に伺い、そしてその中で自分を磨いていこうと思っている。



けい大窪／大窪恵子
(523・7・3 生)

演劇に無縁だった私が飯山劇団と出会ったのは20年近く前、全てが初めての事ばかり、台詞や歌詞を覚えて舞台上立つのが精一杯、無我夢中でした。公演を重ねる度に少しでも上手くなりたいと明治座アカデミーで学ぶことを決意。いろいろ体験する中で、ますます表現する事の難しさを感じました。“おー怖いッ”の一言のセリフ、鳥追い役の初舞台に始まり、水戸黄門の「お吟」、愛染かつら「高石かつ枝」、金色夜叉「お宮」、白波五人男「弁天小僧菊之助」「坂田藤十郎」坂本龍馬の妻「おりょう」外郎売り・・・など、どんな役も慈しみ、自分と役柄が近づいた時は本当に喜びを感じました。そして観て頂いた方々の笑顔に励まされ、今はどの役も愛おしく思い出深く、大切にしていきたいと思っています。今日を迎えて素晴らしい仲間と一緒に、20周年の舞台を踏むことが出来たことを感謝すると共に、少しでも長く飯山劇団が続きますように願っています。



山光治／山本晃
(537・6・20 生)

平成13年9月に入団し16年となります。当初女装演歌歌手として、こまどり姉妹ならぬ『かまどり姉妹』として、相手とデビューしました。16年前、仕事の関係で上京し2年在住し、大阪支部を立上げ現在大阪支部は5名のスタッフで活動しております。東京の大所帯に比べ、小規模ですが毎年定例の施設より公演のご依頼を頂きローカルではありますが、知名度も徐々に向上しております。大阪支部の演劇は関西ならではのよしと風にな、お笑いを中心に展開するコント系に仕上がっており、上演時間も5分ものから、30分ものまで充実してきました。これからも、地域の皆さんに愛される集団であり続けるために頑張っていきたいと思っています。よろしくお願いします。



はん佐藤／佐藤正敏
(519・4・14 生)

だいぶ昔になりますが、大井三叉の小さなスナックに飲みに行っていました。ある日、歌い終わってさあ帰ろうとした時に、太田理事長(当時ARC社長)が入ってこれ、知らない者通しのはじめての顔合わせでした、歌おうと言うことになり、戻って歌合戦と相成りました。そこから行き来しているうちに、会社が倒産してしまい、太田理事長のお声掛けでARCに入社することになったと言う次第です。元々芸名が付いており、当然飯山劇団に自然に入団する羽目になりました。最初についた役が“犬”の着ぐるみで、セリフは何もなくなんとか動きだけでお客さんにアピールするしかありません。これが私の最大の記憶に残る所です。今後も犬以外で頑張っていこうと考えております。

舞台で共演いただいております特別会員(プロ)の皆様



みやまみどり



ドグダー中智



黒おゆ紀



あべゆ紀子



たかはし三橋理絵



高橋五郎



せんだみつお



さいときよ子



ケンデニエル



かたすけ 賢



幸藤子／藤井幸子
(52.1.16 生)

劇団に入って7,8年になろうかと思っています。想えば毎日商売に明け暮れ忙しい日々を送っておりました。ある日ひょうんな事で太田会長が劇団をやっていらっしやることを小耳にはさみました。昔から芸事が大好きで日本舞踊なども習ったりもしました。毎日忙しい日々このまま年を重ねて行くのか?と考えると侘びしい気持ちになる時もありました。ある日チャンスが巡って来ました。思い切って会長に声をかけてみました。「ああ、今日集まりがあるのていらっしやい!」これが始まりで、7年あまりになります。当時より団員も増え現在では本当に本物の劇団になりました。一番の思い出は初出演の「ガマの油売り」の助手で、かけ声をかけるあの場面です。二番目は初めての宮古島公演です。劇団の皆様もいい人達ばかり、この年になっても「幸っちゃん」「幸っちゃん」と声をかけられて、幸せで大変嬉しく思っております。この先続く限り頑張っていきたいと思っております。



英一太郎／大場英一
(51.5.4.6 生)

今回の記念公演には参加出来ず、残念で御座います。数年前、「近藤勇」役で公演に出た事が懐かしくも又、強烈な印象として残っております。又、是非とも格好良い役柄で舞台に立ちたいものと考えております。劇団創立20周年記念公演の成功を、心より祈念申し上げます。



国橋ふみ子／國行英美子
(51.5.9.24 生)

分部さんとお知り合いで宮古島公演に出演参加しました。表舞台は向かい自分をしました。がこんなすばらしい皆様との出会い何かお役に立ちたいと思ひ裏方で皆様の着付けをお手伝いさせて頂き皆様が喜んで下さるのが嬉しく皆様の暖かいお人柄に接して感謝しております。今後も体力の続く限りお手伝いさせて頂きたいと思ひます宜しく願いいたします。



彦どすえ／中井信彦
(57.7.22 生)

この劇団に入った動機は、会社の先輩(現座長)の芝居を見て、楽しそうだなと思ひ入りました。出身地にちなんだ芸名もつけてもらい、皆さまのご厚意ですぐに芝居にも出させていただくことになりました。練習では皆さんの真剣度がひしひしと伝わって来るので、こちら必死になります。それでも劇団の皆さんの顔を見ていると皆さんがほんとに楽しんでおられることが分かります。さて、いざ芝居に出てみると、ほかの人の芝居に気を取られて自分のセリフのタイミングを忘れたり、緊張感と冷や汗の連続でとても演技には程遠かったと思います。何度か芝居に出させていただき、皆さんにも仲良くしていただき、「お芝居」と言う人生で初めて本当に貴重な経験をさせていただきました。たまにリクレーションや飲み会もあり、これもまた楽しい時間を送ることができました。おかげでたくさんの人と知り合うことができ、今もお付き合いをさせていただいております。この劇団を通してさらに新しい人々との繋がりを築くことができました。この劇団の素晴らしいところは、こうした機会と経験を、新しいメンバーにも心広く与えてくださることです。また人の得意、不得意をよく把握されて、ちょうどいい役とセリフを用意されるので初心者でも安心して参加させていただけることです。これもひとえに理事長の広い心を、劇団の皆さんの運営の素晴らしいさだと感じます。私はこの劇団に入会し参加したことで、有意義な経験を得ることができました。これから歳を重ねつつも、更に新しい世界にチャレンジしていきたいと思っております。もし劇団に興味を持たれた方は、ぜひ公演を見に行かれることをお勧めします。



祭ひさ子／政家寿子
(5??・8・9 生)

平成16年11月にきゅりあんでの初舞台!「浪花千栄子言いまんねん」の一言が、ペットボトルのお茶を2本も飲むほど超緊張しました。
それが今は、大阪支部のお笑い演技派女優として頑張っています。
それから阿波踊りにも夢中になり、女踊りと男踊りをマスターし、独自の踊りを現在進行中です!芝居も踊りも、足年が無く、最高の人生を楽しんでいます!お世話になります。



小池一之進／小池一男
(518・5・26 生)

20周年お目出とうござ居ます。皆さん頑張っていますね。公演内容も、どんどん進化して、演技力も負けずに上達して素晴らしいです。公演先からの感謝の声も数多くお聞きしています。いまや、素人芸ではなく、玄人芸に達していますね。ひとりの人が楽しんで参加している事が一番なんですね。私、小池一之進も裏方で頑張っています。
これからも努力致します。



吉横男／横尾良明
(525・1・1 生)

私は最初の方から、結構色々な所に出演しているのですが何故か天才放浪画家、山下清役ばかりでした。演っている内にだんだん彼の考え方、生き方に共感するようになってしまいました。
今、東京と宮古島を行き来しながら生活しているのも、そんな役柄のせいかも知れません。久しぶりに、山下清を演じてみようかなあ。



クーニー焼畑／西畑邦夫
(522・9・24 生)

参加するきっかけは、会社の友人が劇団に所属していて、誘われたからです。自分自身も何か出来ればと思っていた時でしたので、渡りに船と思い参加いたしました。
出来ることは、阿波踊りと下手な芝居です。自分の得意を持ちたいと思い、「太鼓漫談」を練習しております。大阪で2回実施しましたが、笑ってもらえるように、ネタを考えております。乞うご期待ですよ!



みやび／観月みやび
(5??・?・?? 生)

12年前、初の大阪公演で山本氏が女役を演じる話を聞き、女装のわたしとしては是非と見学をお願いしたら出演する事に、当時は大阪はろ名しかなくて、東京・横浜公演が主で大変だったけれど、東京の方々に可愛がっていただき、嬉々として参加! 博多、名古屋、柏崎、宮古島等宿泊を伴う公演では、部屋は?お風呂は?で、お手を煩わした事も・・・
この数年は、大阪でも年々3〜4回公演出来る様になって、特定の施設からは毎年の公演依頼があって、報われる思い! わたし個人でも、ある施設では他のイベントにもお声が掛り、人気はあるの! 女装してても普通(?)にいろんな事が出来る世の中を作った下さった高齢者の方々に感謝を込めて、ひと時のくつろぎの時間を差し上げたいと!
劇団の『落寄セギャル』として これからも……………!



分部つなき／分部綱男
(522・12・17 生)

平成14年、大井町の居酒屋“せっちゃん”で現太田理事長に誘われ、飯山劇団へ入団。初舞台は東品川シルバーセンター、五木ひろしの“逢いたかったぜ”を歌う。本格的な芝居は平成15年、新宿京王プラザホテルでの“水戸黄門漫遊記”助さん役。爾来15年間に亘って劇団活動を推進し、現在までの公演回数は150回に上る。平成17年、副座長に就任、またNPO法人サンライズ福祉機構を設立し副理事長に就任。平成22年から高校同期の脇田氏とタイアップし、“新百合ヶ丘公演”を6年連続実施。平成24年、浅草木馬亭にて“飯山劇団創立15周年記念公演”を実施。平成26年、山浦前座長の後を受け、飯山劇団2代目座長に就任。平成27年、横尾NPO会員のご尽力により4回目の沖縄宮古島公演を実施。平成29年、大井町きゅりあんにて“飯山劇団創立20周年記念公演”を実施。芝居以外に“ガマの油売りの口上”“五木ひろしの歌真似”“社交ダンス”が得意。今後は定期公演の合間を縫って、劇団員の“ふるさと公演”を実施予定。



元坂典之丞／坂本典信
(522・4・2 生)

現座長の分部さんとNEC入社同期で仕事の関係もあったということで劇団に勧誘されつつあるとき、銀座の“五郎ちゃん”で太田さんに紹介され、まだ入団の意思明確でないなか、芸名「元坂典之丞」の命名を受け止む無く？劇団員に呼び込まれた格好です。印象に残る舞台の一つは、釣り人役で初舞台、佐藤公麿呂さん(後で知ったことですが高校の大先輩であった)のハーモニカの伴奏で“赤とんぼ”を歌ったこと、それと劇団15周年記念公演で運転手役で登場、忘れもしない“危ねえじゃないか! 気を付けろ!”“馬鹿野郎! もたもたすんじゃないよ!”“車道なんか歩くんじゃないや!”この三つの台詞です。この舞台を最後に仕事の関係と大井町までの遠距離もあって滞っていますが、今年2017年は節目の古稀、そろそろ仕事もけじめをつけ好きな芝居とカラオケに没頭しようと思ってるところでですので何卒宜しく願い申し上げます。



仲佐和次郎／中澤輝文
(520・5・22 生)

入団11年目になります。今じゃ大きな願っていますが、最初に誘われた時は、えー!劇ですかーという拒絶する感覚でした。ところが、おどおどしながら回数を重ねるうちに、ハマってしまいました。稽古と、公演と、打ち上げ飲み会と、試写会飲み会等々、仲間と一緒に楽しくやっていくのが、楽しみになってます。また、ボランティアで各地の施設を訪問し公演することで、皆さんが楽しんでくれる事が喜びにもなってます。この活動のおかげで、地元の老人会でも積極的に演芸披露出来る度胸も付き、会の御老人方々からも喜ばれています。今後とも体が動く限りはやっていきたいと思っています。



柿洪太郎／志柿正廣
(528・4・24 生)

劇団との関わりは平成13年頃、まだクレスト1(今の分室)に本社が有った時でした。最初は麻雀台が社内に有ったのでよく麻雀をしに行っていました。ある時太田社長(当時)が話があるので事務所に来てくれと言われ、もしかしたら仕事の話ではないかと思いいそいそと向かいました。しかし「〇〇日の18時は空いてるか?」と数日分聞かれ、全て大丈夫ですと言いました。しかし何をやる日ですかと聞いたら「今劇団活動をやっていて〇〇日に劇をきゅりあんでやるから出てくれ。台詞は無いから。」と。え〜〜〜?!ムリムリ! でももしかしたら仕事に繋がるかもという“下心”が後押しし、ま、今回だけでもやってみようかと。“偽お銀”という女役でした。しかしこれが楽しく出来て、次から“うっかり八兵衛”の役を貰い劇団員として定着していきました。今仕事の関係で稽古に参加出来ずにいますので独りで出来る“個人芸”を何かできればと思っています。



シャーロット白鳥／白鳥
順子 (57生/60歳代)

劇団副座長の橋本さんの紹介で入会、その時、イギリス王室の赤ちゃんの名前がシャーロットに決まり、日本でも、サルの子にその名前をつけたことが、話題になり、話題に敏感な劇団の会長さんが付けて下さいました。初舞台は、黒田節、橋本さんが唄う詩吟の黒田節にあわせて、舞台を下手から上手へ一直線に横切りました。
しかし、私の性格は、おとなしく、内気で口下手で人見知りで引っ込み思案なため、舞台は、いつも大変です。



山浦輝八郎／山浦英輝
(517.3.8 生)

劇団創設時より“劇団座長”を拝命しながら舞台上がり、座員諸君との芝居を通しての接点を拠りどころに続けて来て振り返りみれば20年。3年前に座長を分部さんに乗っ取られ現在“名誉顧問”の立場で皆さんの活躍を羨ましく眺めているところである。 ～～と言うのも数年前から体のあちこちに異変が起こり日々通院を余儀無くされ、体調維持の原点である歩行が儘ならないことから劇団活動の一線から身を引かざるを得なかったからである。これも唯々日頃の不摂生による持病の糖尿病からくる〈目が霞む〉〈疲れやすい〉〈立ちくらみする〉等々アルツハイマー型認知症を自覚せざるを得なかったからである。思い出深い公演は数々あるが『けやき荘/金色夜叉 2009.3』である。オバマ大統領が就任(2009.1)間もなく人気爆発であり、私が扮する“富山外務大臣”がオバマ大統領がお忍びで来日、吉田総理と極秘対談が、けやき荘で実現するという設定で、トリュフ山本そして大場さんとのやり取りがあった芝居である。ともかくまだ引退したわけではない！『山浦輝八郎引退公演』が実現することを願い、舞台で花道を飾り生涯を終わりたいと念じているところである。



シュン浜村／中尾俊介
(521.1.22 生)

○劇団との出会い：分部座長の職場の同級生である福島晋日本トータ社長より分部座長が飯山劇団でご活躍されていることを知り、また分部座長とは旧知の間柄であり大阪支部があるとのことが入団希望いたしました。
・記憶・印象に残る舞台：飯山劇団大阪支部 10 周年記念公園 れんげ荘 水戸黄門 ～大阪北摂の地に偽物現る～ 芝居もさることながらバナナのたき売りで会場の観衆が一つになり乗ってくれたことが印象に残っております。
○劇団と人生の関わりについて：初回の舞台であった木馬亭公演を経験して、日常の動作や会話を演技で観衆に伝えることの難しさを痛感しております。日常の自分の会話を見直すことで、自分を見直すいい機会になっております。
○今後について：芸の奥行きを深めるため、阿波踊りのさらなる習得、楽器を用いた演技、特にボーイズ物などをやっていきたい。



さん太／道城猛史
(516.1.1 生)

高校時代からの親友、東田俊一さんの誘いで飯山劇団の一員に名を連ねることになりました。私は学生時代に落語研究会に所属し、養老院や自衛隊等を慰問して落語を披露していました。社会人になってからも昔は忘年会等で小唄をやったものですが、カラオケが盛んになってからはそんな機会も減り、小唄もほとんど忘れてしまいました。飯山劇団の一員に加えていただいても演劇の経験は全くありませんし、私には芝居は無理だと思っています。そんなわけで、社会的に価値のある活動をされている飯山劇団のメンバーに名を連ねさせていただいているにすぎませんが、何か皆様のお役には立てるように努めて行きたいと思っています。落語家の知り合いは何人もいますので、落語に関することで私にできそうなことがありましたらお声をお掛け下さい。
なお、私の芸名「さん太」は、読売新聞の短文コラム「USO放送」に投稿する時に使っているペンネームを転用しました。



詩吟吉／橋本政二
(516・4・8生)

飯山劇団に入団して早10年の歳月が過ぎようとしています。サラリーマン生活を終えて、これからの残された人生を何か社会にお役に立てることはと考えている折、太田理事長からのお声がかかり、ちょっと覗いてみようかと思ったのが入会のきっかけでした。介護老人施設を演劇活動しながら慰問を続けていますが、施設の職員の方々のご苦勞がよくわかります。劇団の活動が少しでも高齢者の皆さんに微力ではありますがお役にたてればと、また演じる側も楽しみながら、見る側の皆さんにも楽しんで頂ければと思っています。趣味で始めた詩吟も四十有余年続けておりますが、舞台上聞かせる吟をと精進しております。最近詩吟教室で高齢の生徒さんに「私は詩吟を習うのではなくあなたの詩吟を聞きに通っています」と言われました。継続は力なりです。演劇においても体の続く限り益々精進を重ねて参りたいと思っています。

そこでサミュエル・ウルマンの詩「青春」とはを按察して見ました。青春とは人生の或る期間を言うのではなく、心の様相を言うのだ。年を重ねただけで人は老いない。理想を失う時に初めて老いがくる。歳月は皮膚のしわを増すが、情熱を失う時に精神はしぼむ。

人は信念と共に若く 疑惑と共に老ゆる

人は自信と共に若く 恐怖と共に老ゆる



察警吉／吉森奉行
(519・8・10生)

9年程前に銀座のとある店で太田理事長と名刺交換をする機会を得ました。その翌日「芝居をやらないか」との電話を戴きましたが、興味がある反面、私の脳裏には一抹の不安!それは太田理事長の腕から覗いていた刺青、この人一体何者。これが後に劇団に入団してから芝居用の刺青であることが判明するまで相当の期間がかかりました。そんな悩みもありましたが、即答で「やらせて下さい」入団をお願いしました。入団してからは察警吉との芸名を戴き、舞台デビューは警察官の制服を着ての銭形平次役、何せ初めての舞台、足はガクガク何をどう喋ったか全く記憶にありません。それから私の悩みが始まります。生い立ちのためか、またまた九州人独特のものか、自分としては台詞をゆっくり喋っているつもりでもいついっ早く口になってしまい何度となく注意、指導を受けるも一向に治らない。もう芝居は辞めようと思いましたが、しかしこんな私に理事長から色々な役を戴き、また訪問先のお客さまに喜んで芝居を見て戴くことに快感を覚え、芝居にどっぷりとはまりこんでしまい今日まで芝居を続けることが出来ました。昨年から母里太兵衛、南郷力丸の大役を戴きなんとか大役をこなせなければとの思いでやっております。特に白波五人男稲瀬川勢揃いの場の口上は特に難しく台詞を覚えるのに一苦勞、やっとさまになりつつある昨今です。自分では早口も少しは解消つつあるとの思いですが、皆さんからはまだまだ早口との批判今だまだまだ修行中、早口の克服とこれから一段と飛躍するために頑張り、芝居を観て戴く方々に喜んでいただけるような演技に励んでいきます。劇団の皆様これからもご指導宜しくお願い申し上げます。



引越さかい／酒井邦彦
(517・3・18生)

“人生甘い日もあり、辛い日もありて楽し” ～～～至って幸せな人生を送っているなあ～とつくづく思う昨今であります。何を隠そう、この日(20周年記念公演日)をもって後期高齢者の仲間入りとなりました。しみじみ“諸々の出会い”が人生を楽しくにも辛くにもさせ、その人の一生を豊かにも苦難の道にも行き着けてしまうと云うことを感じさせます。5年前古稀を迎えたとき人生の一つのけじめと意識し、「自分史」を一年がかかりで創り終えました。自分は拙文なので、親父お袋が残してくれた写真を取り込み、他8ミリ&ビデオなど映像で綴ったものでありますが、自分史を創らせた一番の切っ掛けは一つに「親父お袋への感謝の気持ち」二つに「音楽の出会い」そして三つに「劇団の出会い」があったからであります。特に音楽と劇団との出会いが人生を豊かにさせ、甚だ迷惑と知りながら次の世代(子供たち・孫たち)に親父の“辿った人生”を残したい!これでありました。既に痴呆症・認知症の予備軍入りですから劇団活動を通して健康寿命の先送りをお願いながら、あとxx年、せめて(2020年東京オリパラピック)までは・・・昨今叫ばれてる『終活』をしっかり遣り遂げたい思いの今日この頃であります。兎にも角にも“飯山劇団万歳!”“飯山劇団ファースト!”であります。